

令和2年度第2回認定こども園さくら保育園運営状況確認会議 社会福祉法人さくら会からの報告内容一覧

報告内容	
(1)園体制について(令和2年10月27日現在)	<p><現在の保育体制> 保育教諭は園長を含めて15名。 <現在の園児数> 総数25名。内訳は、0歳児9名、1歳児9名、2歳児7名。 0歳児クラスは、本来6名定員であるが、今年度中に1歳にならない園児(00歳児)2名を含め、現在は9名である。そのため、園の運営に支障のない範囲で、担任外の保育教諭から正規職員1名、非常勤職員1名を0歳児クラスに配置した。</p>
(2)園運営・職員間の意思統一・情報共有	<p>園長と主幹保育教諭の打ち合わせを毎日欠かさず行っている。園長・主幹保育教諭・各年齢の代表で構成される企画会議を行い、その後、職員会議で全職員に伝達するようにして意思統一が図れるようにしている。会議については、子どもたちの安全を十分に配慮しながら、短時間で実施している。 また、行事や日々の保育等の園運営は、職員全員が目を通す日々の連絡ノートを活用して情報を共有している。</p>
(3)保育士の勤務状況について	<p>日々の職員の勤務体制については、残業をすることはなく、定刻通りに勤務を終了している。9月末から10月初めにかけて実施した個人面談では、すべての職員が来年度も継続して勤務することを希望している。</p>
(4)保育の質の向上	<p>週5日勤務であるため、月曜日から金曜日の間に祝日・祭日がある週の土曜日は、全員出勤であり、保育する園児も比較的少ないことから、祝日がある週の土曜日に研究会を行っている。1週間から2週間にわたり研究保育をしている。内容は、0歳児・1歳児・2歳児各クラスの指導案を作成し、各先生方が10分～20分程度保育参観を行い、それぞれの意見を交流する形で実施している。 また、公立認定こども園の保育研究が始まったので、研修会に参加した職員が職場内で伝達講習し、今後、さらに保育の質を高めていきたいと思っている。</p>
(5)園の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放:5月以降毎週火曜日を中心に実施しており、多い時には15組の親子が楽しく園庭で遊んでいた。 ・一時預かり保育事業:5月以降実施しており、延べ58名の利用があった。 ・地域交流さくらんど:8月から毎週水曜日に水遊びや絵本の読み聞かせ、リズム運動遊びなどを実施しており、これまでに138組の参加があった。
(6)公開保育の実施	<p>公開保育を実施する予定をしていたが、新型コロナウイルス感染防止対策から、多くの先生方に集まっていたことが難しいため、外部へ向けての公開保育は来年度に延期する。</p>